



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology



2027

**APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION
to the Master's Program
at Graduate School of Engineering
(SDG Professional Course)
【September Enrollment】**

令和 9 (2027) 年度
大学院工学研究科修士課程
SDG プロフェッショナルコース学生募集要項
【9月入学】

Application Deadline (Data) : Friday, October 9, 2026

(Originals) : Friday, November 13, 2026

出願締切日 (データ提出) : 令和 8 (2026) 年 10 月 9 日 (金)
(原本提出) : 令和 8 (2026) 年 11 月 13 日 (金)

※本募集要項に記載されている日付は全て日本時間とします。

※Dates described in this Application Procedure are based on Japan Standard Time.

目 次

本学における入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
1 SDG プロフェッショナルコースの目的	1
2 出願の手順	2
3 募集人員及び分野の選定等	3
4 出願資格及び要件	3
5 出願手続	5
6 選考方法	7
7 合格者の発表	7
8 入学手続等に係る諸経費	7
9 個人情報の取り扱い	7
10 安全保障輸出管理	7
11 注意事項	8
12 志望分野・講座名	8
13 出願者の国籍対象国一覧	9
14 奨学金制度	11
15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等	13
16 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等	14

◎本要項に添付されている、出願に必要な本学所定の用紙は、次のとおりです。

- 1 Form A 入学申請書
- 2 Form B 専攻分野及び研究計画
- 3 Form C 推薦書
- 4 Form D 健康診断書
- 5 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金申請書
- 6 出願書類チェックシート

◎出願書類等の提出先、不明な点の問い合わせ先等は、下記のとおりです。

〒940-2188
日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学
大学戦略課 国際・高専連携戦略室
Tel: 0258 (47) 9238 Fax: 0258 (47) 9283
E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

令和9(2027)年度 長岡技術科学大学大学院 工学研究科修士課程 SDG プロフェッショナルコース学生募集要項 【9月入学】

長岡技術科学大学大学院工学研究科は、修士課程（SDG プロフェッショナルコース）において、工学に関する学習・研究を行う外国人留学生を下記により募集します。

記

大学院工学研究科修士課程入学者受入方針（アドミッションポリシー）

長岡技術科学大学は、活力（Vitality）、独創力（Originality）及び世のための奉仕（Services）を重んじる VOS の精神をモットーとしています。

本学修士課程が育成を目指す人材像は、情報技術を活用し、安全に関する考え方を身につけ、技術をグローバルに展開できる高度な実践的・創造的能力を備えた指導的技術者・研究者です。

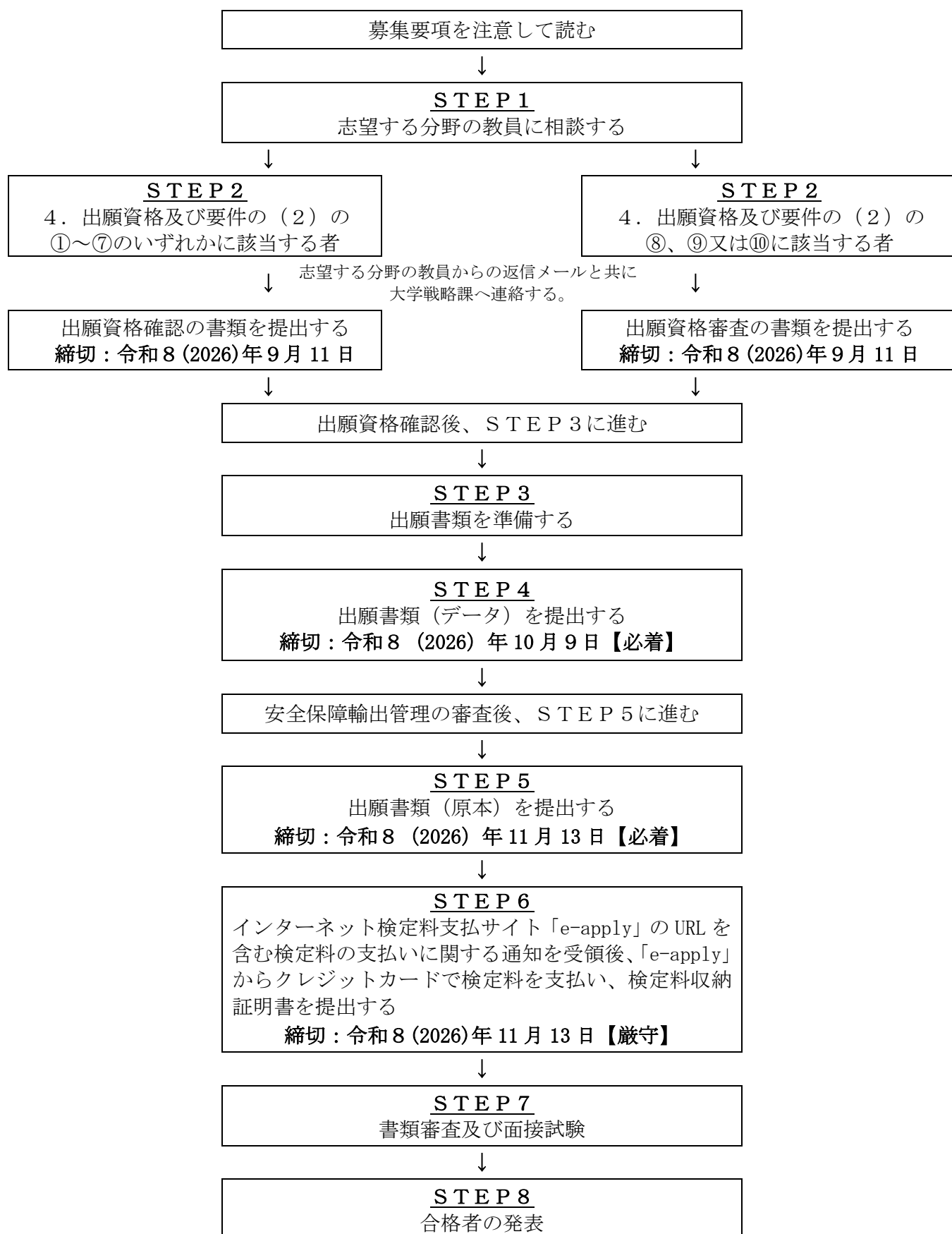
そこで、本学は入学を希望する学生に対し、次のような能力と資質を求めます。

1. 技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び専門に関わる情報技術を身につけた人
2. 研究活動により専門を深めるとともに、複数の分野を学んで異分野融合領域を開拓しようとする人
3. 技術と社会、安全、環境との関わりを理解して技術開発・研究を進めることのできる人
4. 世界の多様な人々とコミュニケーションができ、チームでの協働を積極的に行える人
5. 自ら考え主体性を持って物事に取り組み、公正な判断ができる人

1 SDG プロフェッショナルコースの目的

本コースは、UNESCO との合意に基づく持続可能な開発のための工学教育プログラムです。持続可能な開発目標（SDGs）を基軸とした工学教育を導入し、高度な知識を有する実践的技術者、研究者及び高度な工学教育の担い手を育成することを目的としています。

2 出願の手順



注意事項

- ✓ 「4 出願資格及び要件」の「(2) 学歴」で出願資格を確認すること。

3 募集人員及び分野の選定等

STEP 1

研究科・専攻名	分野名	募集人員
工学研究科・ 工学専攻	機械工学分野	各分野若干人
	電気電子情報工学分野	
	情報・経営システム工学分野	
	物質生物工学分野	
	環境社会基盤工学分野	
	量子・原子力統合工学分野	

入学志願者は、8ページの「12志望分野・講座名」から志望する1分野を選び、併せて志望する講座と志望指導教員を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する分野の講座の教員と相談してください。

(注) 分野及び講座の選定等にあたっては、別冊の「Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering」及び本学ホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<https://www.nagaokaut.ac.jp/e/>

4 出願資格及び要件

STEP 2

日本の国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は大学院入学後に当該資格を取得可能な者で、次の(1)および(2)に該当する者とします。

(1) 国籍等 次のすべてに該当する者

- ① 9ページ「13 出願者の国籍対象国一覧」に示す国籍を有する者
- ② 令和9(2027)年9月に入学できる者

(2) 学歴 次のいずれかの資格を有する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び令和9(2027)年8月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和9(2027)年8月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9(2027)年8月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9(2027)年8月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9(2027)年8月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相

当する学位を授与された者及び令和 9 (2027) 年 8 月までに修了見込みの者

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 (2027) 年 8 月までに修了見込みの者
- ⑧ 大学卒業までに 16 年を要しない国において大学教育を修了した者であって、次の二つの要件を満たし、かつ、本学大学院が、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - i) 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者又は令和 9 (2027) 年 8 月 31 日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者
 - ii) 令和 9 (2027) 年 8 月 31 日において、22 歳に達している者
- ⑨ 令和 9 (2027) 年 8 月までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位をすぐれた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者
- ⑩ 本学大学院が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 9 (2027) 年 8 月 31 日までに 22 歳に達する者

出願資格の確認

上記出願資格①から⑦に該当する者については、出願資格等を確認しますので、必ず出願の前に大学戦略課に照会し、同課の指示する書類を令和 8 (2026) 年 9 月 11 日 (金) までに提出してください。

(志望する分野の教員からの返信メールと共に大学戦略課へ連絡してください。)

出願資格審査

上記出願資格⑧、⑨及び⑩に該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。出願前に大学戦略課へ問い合わせの上、出願資格に応じた次の書類を令和 8 (2026) 年 9 月 11 日 (金)までに提出してください。出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、10 月 2 日 (金) 以降に大学から発送します。

審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

⑧に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書及び学位証明書）
- 3) 研究歴証明書（本学所定の用紙により、大学等研究機関の長が作成したもの）

⑨に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 在学証明書、成績証明書等

⑩に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書及び学位証明書）
- 3) 実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類（論文、研究報告、学会等での活動歴等）

※ なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

※ 提出する書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。（その他の言語による場合は、英訳を添付。）

5 出願手続

STEP 3

(1) 出願書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

	出願に必要な書類等	摘 要
1	入学申請書（様式 A）	両面印刷
2	専攻分野及び研究計画（様式 B）	両面印刷
3	推薦書（様式 C）	出身大学の <u>研究科長レベル以上</u> の者が作成したもの
4	健康診断書（様式 D）	出願以前 3 か月以内に受診し、医師が作成したもの
5	パスポートの写し又は本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写し	パスポートの写し（表紙及び氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ）又は身分を証明する書類の写し（氏名、国籍、生年月日が記載されたもの）。 出願書類には、必ずこれらの書類に記載の氏名を用いてください。
6	卒業又は修了（見込）証明書	出身大学が証明したもの ※在学中の場合は、卒業又は修了予定日が記載されたものを提出してください。
7	学位の取得（見込）を証明できる書類	出身学校又は大学改革支援・学位授与機構が証明したもの ※出願資格②～⑥及び⑧の該当者
8	学士課程の成績証明書	出身大学が証明したもの ※成績評価尺度を示す書類を添付してください。 ※大学に編入学で入学した者及び専攻科出身者は、大学編入学前の出身学校又は専攻科入学前の成績証明書も提出してください。
9	学位論文概要等（任意）	論文内容を簡潔にまとめたものがあれば、提出してください。
10	業績等報告書（任意）	本人が行った研究活動等の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等〕があれば、提出してください。
11	英語の能力を証明する書類	本修士課程は英語プログラムです。したがって、以下のいずれか又は両方の書類を提出すること。 ・TOEFL、TOEIC、IELTS のいずれかの試験結果の証明書 ※令和 6（2024）年 11 月以降に取得した 4 技能（リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング）全てを測ることができる資格・検定試験のみを受け付けます。 ※TOEFL のスコアを提出する場合は、TOEFL アカウント（ETS）を通じて「SDG Professional Course, Nagaoka University of Technology」（DI コード：G255）へ公式スコアレポート（Official Score Report）の直送を依頼するとともに、受験者用スコアレポート（Test Taker Score Report）を他の出願書類と併せて提出してください。 ・英語プログラムによる課程で最終学位を取得したことを証明する書類
12	長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金申請書（希望する場合）	長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生を希望する場合は、提出してください。
13	出願書類チェックシート	本学所定の様式を使用してください。

(2) 出願書類作成の注意

- ① これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。(その他の言語による場合は、英訳を添付。)
- ② 上記書類のうち、1～4、12、13の書類は本学所定の用紙を使用すること。これら以外の書類については、できるだけタイプを用いて A4 判サイズに統一して作成すること。上記書類は特に指定のない限り、正本を提出すること。外国の証明書で原本を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたコピーを提出してください。
- ③ 最終学歴が大学院の場合、上記書類のうち、4、6～10の書類は大学院のものも提出すること。
- ④ 上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。
- ⑤ いかなる場合においても提出書類は返却しません。

(3) 出願書類の提出期限及び提出先

STEP 4

データ提出期限 令和 8 (2026) 年 10 月 9 日 (金)【必着】

提出先 koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

(注) 郵送での提出の前にデータで一式を提出してください。

STEP 5

原本提出期限 令和 8 (2026) 年 11 月 13 日 (金)【必着】

提出先 〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 大学戦略課 国際・高専連携戦略室

(注) 出願書類等は、郵送又は持参してください。

(4) 検定料の支払方法

STEP 6

検定料の支払方法は、提出期限までに提出された出願書類の確認後に本学インターネット検定料収納サイト「e-apply」の URL 等を案内します。志願者は、e-apply からクレジットカードで支払手続きを行ってください。

また、検定料の支払い完了後に e-apply のサイトから検定料収納証明書をダウンロードし、メールで提出してください。期日までに検定料が振込みされなかった場合は出願を受理しません。

検定料 30,000 円

支払期日 令和 8 (2026) 年 11 月 13 日 (金) 23 時 59 分

(注 1) 検定料のほかに手数料がかかります。

(注 2) インターネットを利用し e-apply からクレジットカードで支払手続きを行えない場合は、令和 8 (2026) 年 10 月 30 日 (金) までに大学戦略課へ相談してください。

e-apply および操作方法に関する問い合わせ先

運用会社：株式会社キャリアタス

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

E-mail: cvs-web@career-tasu.co.jp

(5) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 出願が受理されなかった場合
- ③ 検定料等を誤って二重に払い込んだ場合
- ④ 出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合

〔返還請求の方法〕

大学戦略課まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」（本学所定の書式）を入手してください。

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに提出してください。

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約 1 か月程度の期間を要します。

6 選考方法

STEP 7

選考は、書類審査及び面接試験（遠隔通信手段によるものを含む）の内容を総合して行います。面接試験の方法、日時及び場所は、後日連絡します。

- (1) 書類審査は、5 (1) に示した出願書類等で行います。
- (2) 現地又は本学において面接試験を行います。

面接試験は、英語で実施し、専門科目（専攻しようとする学問分野）の口述試験を含みます。

7 合格者の発表

STEP 8

合格者には、令和 9 (2027) 年 1 月 22 日（金）に通知します。

8 入学手続等に係る諸経費

令和 9 (2027) 年度入学者に係る具体的な金額は未定です。

（ 参考 令和 8 (2026) 年度入学者
入学料 282,000 円， 授業料 535,800 円（年額） ）

上記の経費の他に、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費として、34,430 円（予定）が必要です。

9 個人情報の取り扱い

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ① 入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する業務
- ② 修学上必要な本学での業務
- ③ 入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

10 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人長岡技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受入に際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、出願できません。

11 注意事項

- (1) 入学手続等についての詳細は、合格者に後日通知します。
- (2) 本プログラム、「SDG プロフェッショナルコース」は英語で実施する大学院特別コースです。修士課程を修了するためには、本特別プログラム及び各分野の修了要件を満たす必要があります。
- (3) 渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ調べてください。
- (4) その他、本募集に関する問い合わせは、下記へ照会してください。

〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1 長岡技術科学大学 大学戦略課 国際・高専連携戦略室 Tel: 0258 (47) 9238 Fax: 0258 (47) 9283 E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

12 志望分野・講座名

研究科・ 専攻名	分野名	講座名
工学研究科 ・工学専攻	機械工学分野	機械情報・制御工学
		設計・生産工学
		熱・流体工学
		材料システム工学
		創未来テクノロジー
	電気電子情報工学分野	電気エネルギー・制御工学
		電子デバイス・ 光波制御工学
		情報通信制御工学
	情報・経営システム工学分野	応用情報学
		マネジメントシステム
		データサイエンス
	物質生物工学分野	資源活用工学
		材料創成工学
		生体環境工学
	環境社会基盤工学分野	社会基盤デザイン
		社会基盤マネジメント
		防災システム
		環境マネジメント
	量子・原子力統合工学分野	原子力安全
		原子力技術
		量子・放射線

13 出願者の国籍対象国一覧

地域	国名	※	※
		M	S
アジア	バングラデシュ	○	○
	ブータン	○	○
	カンボジア	○	○
	中華人民共和国	—	○
	インド	○	○
	インドネシア	○	○
	ラオス	○	○
	マレーシア	○	○
	モルディブ	○	○
	モンゴル	○	○
	ミャンマー	○	○
	ネパール	○	○
	パキスタン	○	○
	フィリピン	○	○
	スリランカ	○	○
	タイ	○	○
	東ティモール	—	○
	ベトナム	○	○
中東	アフガニスタン	○	○
	イラン	○	○
	イラク	○	○
	ヨルダン	○	○
	レバノン	○	○
	シリア	○	○
	トルコ	○	○
	イエメン	○	○
アフリカ	アルジェリア	○	○
	アンゴラ	○	○
	ベナン	○	○
	ボツワナ	○	○
	ブルキナファソ	○	○
	ブルンジ	○	○
	カーボベルデ	○	○
	カメルーン	○	○
	中央アフリカ共和国	○	○
	チャド	○	○
	コモロ	○	○

地域	国名	※	※
		M	S
アフリカ	コンゴ共和国	○	○
	コートジボワール	○	○
	コンゴ民主共和国	○	○
	ジブチ	○	○
	エジプト	○	○
	エスワティニ	○	○
	赤道ギニア	○	○
	エリトリア	○	○
	エチオピア	○	○
	ガボン	○	○
	ガンビア	○	○
	ガーナ	○	○
	ギニア	○	○
	ギニアビサウ	○	○
	ケニア	○	○
	レソト	○	○
	リベリア	○	○
	リビア	○	○
	マダガスカル	○	○
	マラウイ	○	○
	マリ	○	○
	モーリタニア	○	○
	モーリシャス	○	○
	モロッコ	○	○
	モザンビーク	○	○
	ナミビア	○	○
	ニジェール	○	○
	ナイジェリア	○	○
	ルワンダ	○	○
	サントメ・プリンシペ	○	○
	セネガル	○	○
	シエラレオネ	○	○
	ソマリア	○	○
	南アフリカ共和国	○	○
	南スーダン	○	○
	スーダン	○	○
	タンザニア	○	○

		※	※			※	※
地域	国名	M	S	地域	国名	M	S
アフリカ	トーゴ	○	○	大洋州	フィジー	○	○
	チュニジア	○	○		キリバス	○	○
	ウガンダ	○	○		マーシャル諸島	○	○
	ザンビア	○	○		ミクロネシア	○	○
	ジンバブエ	○	○		ナウル	○	○
中南米	ガイアナ共和国	○	○		ニウエ	○	○
	アルゼンチン	○	○		パラオ	○	○
	ベリーズ	—	○		パプアニューギニア	○	○
	ボリビア	○	○		サモア	○	○
	ブラジル	○	○		ソロモン諸島	○	○
	コロンビア	○	○		トンガ	○	○
	コスタリカ	—	○		ツバル	○	○
	キューバ	—	○		バヌアツ	○	○
	ドミニカ国	—	○	欧州 (NIS 諸国 を含む)	アルバニア	○	○
	ドミニカ共和国	—	○		アルメニア	○	○
	エクアドル	○	○		アゼルバイジャン	○	○
	エルサルバドル	—	○		ベラルーシ	—	○
	グレナダ	—	○		ボスニア・ヘルツェゴビナ	○	○
	グアテマラ	—	○		北マケドニア共和国	○	○
	ハイチ	—	○		ジョージア	○	○
	ホンジュラス	—	○		カザフスタン	○	○
	ジャマイカ	—	○		コソボ	○	○
	メキシコ	—	○		キルギス共和国	○	○
	ニカラグア	—	○		モルドバ	○	○
	パナマ	—	○		モンテネグロ	○	○
	パラグアイ	○	○		セルビア	○	○
	ペルー	○	○		タジキスタン	○	○
	セントルシア	—	○		トルクメニスタン	○	○
	セントビンセント及びグレナディーン諸島	—	○		ウクライナ	○	○
	スリナム	○	○		ウズベキスタン	○	○
	ベネズエラ	○	○				

出典：経済協力開発機構(OECD)開発援助委員会(DAC)のDAC 援助受取国・地域リスト

※参考：奨学金募集対象国・地域（2026 年度の情報です。2027 年度の対象国・地域は、令和 8（2026）年 11 月頃に文部科学省により公開されるため、上記の内容から変更になる場合があります。）

M：日本政府（文部科学省）奨学金 S：長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金
○：奨学金募集対象国・地域 —：奨学金募集対象国・地域以外

14 奨学金制度

本学には、本コースの合格者の内から以下の条件に該当する者を対象とした奨学金制度が2種類あります。

1つは、日本政府（文部科学省）奨学金です。本コースの合格者の中から、下記、日本政府（文部科学省）奨学金に関する条件に該当する者最大3人を2027年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生に推薦しますので、日本政府（文部科学省）奨学金留学生への推薦希望の有無について、入学申請書14(1)に明記してください。この奨学金留学生に採用された場合の奨学金等は、「15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等」とおりです。日本政府（文部科学省）奨学金留学生への推薦候補者には、本コースの合格者の発表後に、推薦手続きについて通知します（文部科学省からの採用結果の通知は、令和9（2027）年7月頃の予定です）。

もう1つは、長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金です。長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生希望の有無について、入学申請書14(2)に明記してください。この奨学金留学生に採用された場合の奨学金等は、「16 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等」とおりです。なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生への推薦を希望する者も長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生を希望することは可能ですが、日本政府（文部科学省）奨学金留学生に採用された場合は、長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金を受給することはできません。長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金には、本コースの合格者の発表後に通知します。

(1) 奨学金留学生の条件

1) 奨学金留学生の条件を満たす者は、「4 出願資格及び要件」の(1)、(2)に示す要件を満たし、かつ新規に取得した「留学」の在留資格で新たに渡日する者です。さらに、次の全てに該当することが必要です。

- ① 「13 出願者の国籍対象国一覧」において奨学金募集対象国・地域の国籍を有する者
- ② 平成4（1992）年4月2日以降に出生した者（日本政府（文部科学省）奨学金のみ）
- ③ 現在、社会人の者は最終学歴の学業成績係数、在学生は現在在籍する課程の学業成績係数が2.30以上であり、奨学金支給期間中の在籍課程においてもこれを維持する見込みがある者

○算出手順

下表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

区分	成績評価				
4段階評価		優	良	可	不可
4段階評価		A	B	C	F
4段階評価		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)\} / (\text{総登録単位数})$$

（注1）履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

（注2）編入学している場合は、編入学後の単位数を対象とすること。

（注3）上表の成績評価にない評価（例えば、「認定」、「合格」など）は対象としないこと。

（注4）学業成績係数に端数が出る場合は、小数点第3位以下を切り捨てること。

- ④ 英語の能力を有する者として、以下のいずれかの条件を満たす者

○英語

- 1 入学者選抜試験時点で、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの4技能を計測できる試験で、英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の B2 相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。TOEIC の場合は、4 技能(Reading & Listening、Speaking & Writing)のすべてのスコアが CEFR B2 相当以上であること。技能別にスコアが算出される検定試験については、全ての技能のスコアが CEFR B2 相当以上であること。
- 2 日本の大学院修士課程への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。

2) 次に掲げる事項に一つでも該当する者については対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。

- ① 渡日時及び奨学金支給期間において、現役軍人又は軍属の資格の者。
- ② 文部科学省又は受入大学の指定する期日までに渡日できない者。
- ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（学籍発生後辞退者を含む）。ただし「研究留学生」に応募を希望する者で、以下のいずれかに該当する場合はこの限りではない。なお、文部科学省学習奨励費（MEXT Honors Scholarship）は日本政府（文部科学省）奨学金留学生にあたらないため、過去に受給歴があっても応募可能。
 - ・ 奨学金支給最終月の翌月から奨学金支給開始月までに3年以上の学業又は職務経歴がある者。
 - ・ 最後に受給した日本政府（文部科学省）奨学金が日本語・日本文化研修留学生（帰国後に在籍大学を卒業した又は卒業見込みの者に限る。）、日韓共同理工系学部留学生、ヤング・リーダーズ・プログラム留学生のいずれかであった者。
 - ・ 日本政府（文部科学省）奨学金（大学推薦・特別枠）の学部生として学士の学位を取得（又は取得見込みの者）した者。
- ④ 日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の 2026 年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者。
- ⑤ 奨学金支給開始後（受入大学における学籍等発生後）に日本政府及び日本政府関係機関抛出の奨学金・フェローシップ等の受給を予定している者。
- ⑥ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
- ⑦ 申請時に二重国籍者で、渡日時（受入大学における学籍発生時）までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
- ⑧ 申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者。
- ⑨ 学位取得を目的としない者。

15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等

(1) 奨学金支給期間

令和 9 (2027) 年 9 月から令和 11 (2029) 年 8 月までの 2 年間

※本学の博士後期課程に進学希望の者で、一定の基準を満たす、特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長申請を行い、文部科学省の審査により博士後期課程在籍期間（令和 11 (2029) 年 9 月から令和 14 (2032) 年 8 月までの 3 年間）の奨学金支給が承認される場合があります。

(2) 奨学金等

1) 奨学金

月額 144,000 円（予定）。なお、日本政府の予算状況により各年度で金額は変更される場合があります。大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されません。

2) 旅費

① 渡日旅費 文部科学省は、原則として旅行日程及び経路を指定して航空券を交付します。航空券は、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港（原則、国籍国内）から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券とします。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。また、国籍国に日本の在外公館が所在していない場合及び、国籍国に所在する日本の在外公館が一時閉館している等の理由により、査証申請のため第三国へ立ち寄り渡日する者又は国籍国からの直行便がない者については、立ち寄り国内の旅費、宿泊費等は自己負担とし、国籍国から立ち寄り国までの航空券並びに立ち寄り国から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券のみを文部科学省が交付します。なお、査証申請のための第三国立ち寄り等を除き、自己都合により国籍国外から渡日する場合は航空券を交付しません。

② 帰国旅費 文部科学省は、原則として課程を修了し、上記「奨学金支給期間」に定める奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生に対し、本人の申請に基づき航空券を交付します。航空券は、受入大学が通常の経路として使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港（原則、国籍国内）までの下級航空券とします。帰国する留学生の日本での居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。なお、自己都合及び下記「奨学金支給停止事項」の事由により奨学金支給期間終了月前に帰国する場合は帰国旅費を支給しません。

また、奨学金支給期間終了後も引き続き日本に滞在する場合（例：日本での進学、就職、引き続き私費外国人留学生として大学に在籍する場合等）、一時帰国する際の帰国旅費は支給しません。

3) 教育費

大学における入学検定料、入学金及び授業料等は徴収しません。入学検定料は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された際に返還します。

4) 奨学金支給停止事項

次の場合には、文部科学省は奨学金の支給を取り止めます。また、これらに該当した場合、それまで支給した奨学金の一部又は全ての返納を命じることがあります。なお、処分が決定されるまでの間、奨学金の支給を止めることもあります。

- ① 申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
- ③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- ④ 大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。
- ⑤ 大学において学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- ⑥ 「留学」の査証を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格から他の在留資格に変更になったとき。

- ⑦ 本奨学金との併給が認められていない奨学金（日本政府及び日本政府関係機関拠出のその他奨学金・フェローシップ等）の支給を受けたとき。
- ⑧ 採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。
- ⑨ 当該大学を退学したとき又は他の大学に転学したとき。
- ⑩ 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

（注）日本政府（文部科学省）奨学金留学生の条件は、変更されることがあります。

（参考：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/boshu/1415351_00007.htm）

16 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等

（1）奨学金の支給期間

令和9（2027）年9月から令和11（2029）年8月までの2年間

※本学の博士後期課程に進学希望の者で、一定の基準を満たす、特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長申請を行い、博士後期課程在籍期間（令和11（2029）年9月から令和14（2032）年8月までの3年間）の奨学金支給が承認される場合があります。

（2）奨学金等

1) 奨学金

月額80,000円（予定）が支給されます。ただし、留学生が大学を休学又は長期に欠席した場合は、原則として奨学金は支給されません。

2) 旅費

旅費の支給はありません。

3) 教育費

「8 入学手続等に係る諸経費」に記載の通り、入学検定料、入学金及び授業料等を徴収します。

4) 奨学金支給停止事項

次の場合には、奨学金の支給を取り止めます。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがあります。

- ① 奨学金受給者の義務を怠ったとき。
- ② 応募書類の記載事項に虚偽があることが判明したとき。
- ③ 日本政府（文部科学省）奨学金、外国の政府奨学金、その他、これに類する奨学金の支給を受けたとき。

Contents

Admission Policy	1
1. SDG Professional Course Objectives	1
2. How to Apply	2
6. Selection Procedure.....	7
7. Announcement of Acceptance.....	7
8. Expenses for Enrollment	7
9. Privacy Policy	7
10. Security Export Control	7
11. Additional Notes	8
12. Fields of Study and Research Areas.....	8
13. List of Qualified Countries of Nationality for Application	9
14. Scholarships for Successful Candidates	11
15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship	13
16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology	14

◎ The following forms are included in the application packet:

- 1 Form A Application Form for Admission
- 2 Form B Field of Study and Research Plan
- 3 Form C Recommendation Letter
- 4 Form D Certificate of Health
- 5 Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology
- 6 Check Sheet for Application Documents

◎ Please contact the office below in any matter concerning admissions.

Office of International and KOSEN Cooperation Strategies Division of Institutional Strategies Nagaoka University of Technology 1603-1 Kamitomioka, Nagaoka, Niigata 940-2188 JAPAN Phone: +81-258-47-9238 Fax: +81-258-47-9283 E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp
--

2027
APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION
to the Master's Program
at Graduate School of Engineering
Nagaoka University of Technology
(SDG Professional Course)
【September Enrollment】

The graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology offers the Master's program (named as SDG Professional Course). The following describes the application procedure for this program.

Admission Policy

Nagaoka University of Technology embraces the motto of "VOS" i.e., Vitality, Originality, and Services to the world.

Our master's program aims to nurture leading engineers and researchers with advanced practical and creative skills, empowering them to leverage information technology and adopt safety-conscious approaches on a global platform.

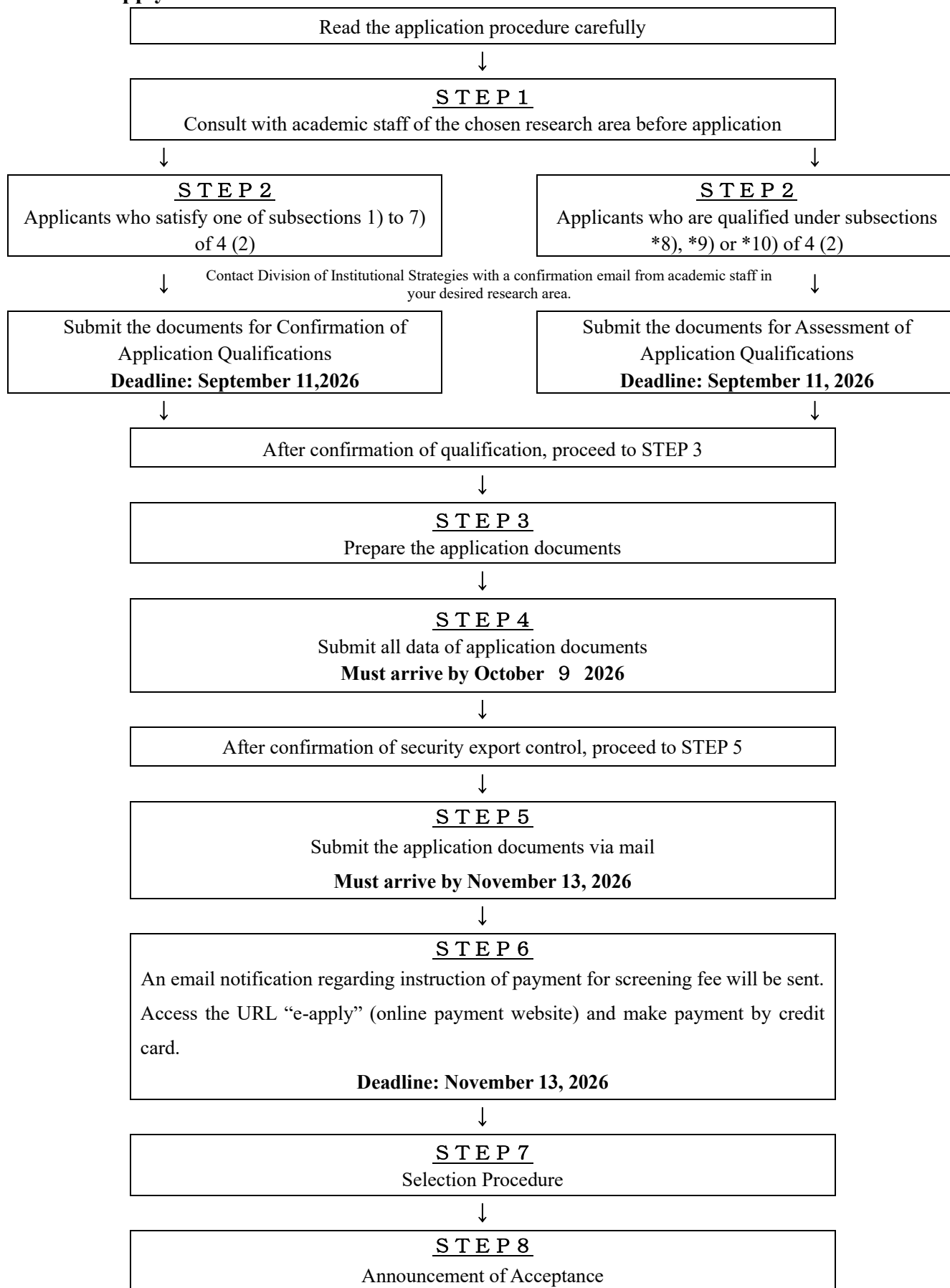
We invite students with the following characteristics to apply:

1. Students who have acquired fundamental knowledge and skills in various science and technology fields, along with information technology relevant to their area of expertise.
2. Students who aim to deepen their expertise through research activities and are eager to explore multiple fields to pioneer interdisciplinary fusion areas.
3. Students who can further contribute to technological development and research with a clear understanding of the interplay between technology, society, safety, and the environment.
4. Students who can communicate effectively with diverse people worldwide and actively engage in team collaboration.
5. Individuals who can think independently, take initiative, and make impartial judgments.

1. SDG Professional Course Objectives

Nagaoka University of Technology offers this course as an engineering education program for sustainable development based on the agreement with UNESCO. This graduate-level course incorporates engineering education built on a foundation of Sustainable Development Goals (SDGs), and is designed to produce practical engineers/researchers with high levels of expertise and educators of advanced engineering.

2. How to Apply



Notes:

✓ Check your qualifications for application: 4. Qualifications (2) Academic Background.

3. Fields of Study and Authorized Student Enrollments

STEP 1

A small number of students will be accepted in each field stated below:

1. Mechanical Engineering
2. Electrical, Electronics and Information Engineering
3. Information and Management Systems Engineering
4. Materials Science and Bioengineering
5. Civil and Environmental Engineering
6. Nuclear Technology

Applicant must choose one of the research areas referring to "12. Fields of Study and Research Areas" on page 8.

Applicant may also choose professor(s) or associate professor(s), if there are any preferred ones.

Please consult with academic advisor(s) of the chosen research area(s) BEFORE application.

(NOTE) When choosing one of the research areas, please refer to the appendix "Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering" and the university's website below;

<https://www.nagaokaut.ac.jp/e/>

4. Qualifications

STEP 2

First of all, applicants must be those who are applicable to either A or B below.

(A) Non-Japanese who hold a resident visa status permitting enrollment to the Graduate School under the Immigration Control and Refugee Recognition Act

(B) Non-Japanese who are expected to obtain the above status after enrollment in the Graduate School under the Immigration Control and Refugee Recognition Act

Applicants must also satisfy both (1) and (2) as follows.

(1) Nationality: Applicants must satisfy all of the following conditions:

- 1) Have nationality of nations listed in section 13, page 9.
- 2) Be able to enroll in September 2027.

(2) Academic Background: Applicants must satisfy one of the following requirements:

- 1) Be a university graduate, or be expected to graduate by the end of August 2027, in Japan.
- 2) Have successfully obtained a bachelor's degree at the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE), or be expected to do so by the end of August 2027, in Japan.
- 3) Have successfully completed a 16-year course of school education abroad, or be expected to do so by the end of August 2027.
- 4) Have completed, in Japan, the correspondence course of an overseas educational institution and completed a 16-year course of school education, or be expected to do so by the end of August 2027.
- 5) Have successfully completed a course at an overseas educational institution in Japan which requires graduates to have completed a 16-year course in the school education system, which is deemed to have university courses in that system, and which is specifically recognized by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, or be expected to do so by the end of August 2027.
- 6) Those who have a degree equivalent to a Bachelor's degree or expect to obtain such a degree by the end of August 2027, from a university or school in a country other than Japan by completing a course of study for at least 3 years by a correspondence course, provided by a school of that country, in Japan, or from an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology. The university or school must be evaluated on the comprehensive quality of the education and research activities by the authorized persons of the government or relative institution of the country or must be restricted to an institution specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology.
- 7) Have completed a specialized course of training recognized by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology at a Senshu School (Specialized School), or be expected to do so by the end of August 2027.

*8) In the case of an applicant from a foreign country where the completion of college level education does not require 16 years of school education, satisfy the following 2 conditions and be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to have academic ability equal to or higher than a graduate of a Japanese university.

i) Have spent one year or more as a research student or research fellow at a university or research institute in Japan or abroad after successfully obtaining a bachelor's degree, or be expected to do so by August 31, 2027.

ii) Be 22 years old or older as of August 31, 2027.

*9) Have studied at a university three years or more or be expected to do so, or have completed 15 years of school education abroad or be expected to do so, by the end of August 2027. Be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to get or have gotten an excellent record.

*10) Be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to have academic ability equal to or higher than a graduate of a Japanese university, based on the submitted documents and be 22 years old or older as of August 31, 2027.

*** Confirmation of Application Qualifications**

Applicants under subsections 1) to 7) are required to confirm their qualifications.

Before submission of the application documents, be sure to contact Division of Institutional Strategies. The office will provide documents for the application qualification. Filled documents should be submitted to the office by September 11, 2026..

(Contact Division of Institutional Strategies with a confirmation email from academic staff in your desired research area.)

*** Assessment of Application Qualifications**

The University will assess the qualifications of applicants under subsections *8), *9) or *10) based on the submitted documents. Applicants should contact Division of Institutional Strategies before submitting the application documents. The following documents for assessment should be submitted to the office by September 11, 2026. The result of assessment is to be notified to the applicant in written form by October 2, 2026.

Only applicants whose qualifications meet the university requirements may submit application documents.

• Documents to be submitted

*8) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)

2. Documents certifying academic career (diploma, final transcript, etc.)

3. Certificate of Research Activities (provided form, completed by the head of each academic institution)

*9) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)

2. Certificate of School Registration, academic record, etc.

*10) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)

2. Documents certifying academic career (diploma, final transcript, etc.)

3. Documents certifying work experience, overseas experience, or other academic activity

(academic papers, research reports, records of research or other academic activity, etc.)

The office may request submission of additional documents according to academic background and career.

All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.

5. Application Procedure

STEP 3

(1) Applicants must submit the following documents;

Documents		Notes
1	Application Form for Admission (Form A)	Double-sided Printing
2	Field of Study and Research Plan (Form B)	Double-sided Printing
3	Recommendation Letter (Form C)	This form should be obtained from <u>the head of department or above</u> in the applicant's former university.
4	Certificate of Health (Form D)	This form should be completed and signed by the examining physician. The applicant should have been examined within 3 months before the application.
5	Copy of Passport OR Copy of Certificate of Citizenship of the Applicant's Country of Residence	Copy of passport (cover and pages including name, nationality, photograph and date of birth) OR Copy of certificate of citizenship of the applicant's country of residence (including name, nationality, photograph and date of birth) * The name on all application documents should be the name as that appeared on the above certificate or copy.
6	Certificate of Graduation, or document that confirms the expected date of graduation	Certificates or similar documents should be authorized by the institution.
7	Certificate of Bachelor's Degree, or document that confirms the expected date of receiving the degree	Certificates or similar documents should be authorized by the institution or National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE). * For applicants under subsections (2), (3), (4), (5), (6) and (8) of qualifications for application.
8	Academic Record (transcript) of Undergraduate Program	Transcripts should be authorized by the institution. * Supporting documents showing the grading scale should be attached. * If the applicant was transferred to the current university from other schools, academic records from the previous school should also be submitted.
9	Brief summary of Bachelor's thesis (optional)	A brief summary of Bachelor's thesis will be accepted.
10	Report on research and professional achievements (optional)	Photocopies of the following optional certificates and documents will be accepted. - a summary of achievements of research and professional works (research and development activities, educational activities or other types of work as an engineering professional) conducted by the applicant - selected research papers - technical reports - patents certificates - other supplemental documents
11	English proficiency certification	This program is conducted in English. Applicants are thus required to submit either or both of the following documents. - an official test score report of either TOEFL, TOEIC or IELTS <u>*Only qualifications and examinations that can measure all four skills (listening, reading, writing and speaking) obtained after November 2024 will be accepted.</u> <u>* If you are submitting TOEFL scores, please request ETS</u>

		<u>to send your Official Score Report directly to "SDG Professional Course, Nagaoka University of Technology" (DI Code : G255) through your TOEFL account.</u> <u>Additionally, please submit your Test Taker Score Report along with the other application documents.</u> - the evidence that the applicant's final degree was earned at a university where all instruction was in English
12	Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology (if applicable)	If you hope to be admitted as an SDG Professional Course Scholarship Student at Nagaoka University of Technology, this document should be submitted.
13	Check Sheet for Application Documents	Provided Form

(2) Additional Notes

- 1) All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.
- 2) For (1) 1 – 4, 12 and 13 listed above, please only use the provided forms. The remaining documents should be submitted in A4 sized paper (210 mm×297 mm). **All of the documents mentioned in section 5 (1) must be original unless otherwise stated. If you cannot submit an original certificate, please submit a copy of the document that has been certified by an embassy or other public institution.**
- 3) For (1) 4 and 6 – 10 listed above, if the terminal education record is a graduate program, graduate program documents should be included along with the undergraduate documents also.
- 4) The application will not be accepted if any of the above documents are uncompleted, insufficient or received after the deadline.
- 5) The application documents will not be returned to the applicant in any circumstances.

(3) Deadline and Mailing address

STEP 4

Data Submission Deadline: October 9, 2026

Submit to koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

Note: Please submit a complete set of application and documentation data before submitting by mail.

STEP 5

Deadline (The documents must arrive by): November 13, 2026

Mailing address for application: Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,
Division of Institutional Strategies,
Nagaoka University of Technology,
1603-1 Kamitomioka, Nagaoka, Niigata 940-2188 Japan

Note: The application form and required documents should be brought in person or sent by postal or international courier services.

(4) Payment of the screening fee

STEP 6

The applicant is asked to make a payment of screening fee by a credit card through “e-apply” which is a website for screening fee payments. Method of payment including URL of e-apply will be informed to each applicant upon confirmation of application documents (1 to 14 indicated in Section 5 (1)) received by the deadline indicated in Section 5 (3). The applicant is also required to submit the payment receipt downloaded from e-apply website after the payment. If the applicant fails to make a payment by the designated deadline, the application will not be accepted or proceeded.

Screening Fee: 30,000 JPY

Payment Deadline: 23:59 (JST) on November 13, 2026

(Note 1) Handling fee will be charged for the credit card payment.

(Note 2) If the applicant does not have internet access or a credit card to make an online payment, please contact Division of Institutional Strategies by October 30, 2026.

Inquiry about e-apply and operation method:

Operating Company: Career-tasu, Inc.

Learning and Education Application Service Support Center

E-mail: cvs-web@career-tasu.co.jp

(5) The screening fee is not refundable EXCEPT in the following cases:

- 1) The applicant has already paid the screening fee.
- 2) The applicant enters our university as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Student.

Refund Procedure

To request a refund, please contact Division of Institutional Strategies to obtain a screening fee refund form. The applicant should fill out the form and submit it with the bank transfer receipt to the division as soon as possible.

NOTE: This procedure takes about one month after the form is submitted.

6. Selection Procedure

STEP 7

The selection procedure consists of an evaluation of the application documents and an interview (may be conducted online). Further details will be announced later.

- (1) Evaluation of the application documents will be done based on the application documents indicated in "5. Application Procedure".
- (2) The interview will be held either in the applicant's country or in Nagaoka University of Technology. The interview will be conducted in English and will include an oral examination of the applicant's major field.

7. Announcement of Acceptance

STEP 8

Nagaoka University of Technology will send an acceptance letter to successful candidates on January 22, 2027.

8. Expenses for Enrollment

Payment of fees:

The admission and tuition fees for 2027 have not been finalized yet. (As reference, Admission and tuition fees for 2026 were 282,000 JPY and 535,800 JPY, respectively.)

Additional expenses such as Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research, etc. are required as well. (As reference, the amount of expenses in total was 34,430JPY in 2025)

9. Privacy Policy

Personal information related to admission will be managed appropriately, and will not be used except for the following purposes:

- (1) Procedures for student admission and its announcement, admission process and matters related thereto.
- (2) Matters required for academic procedures.
- (3) Surveys, statistics and analyses for the improvement of the method of selecting entrants, education and research.

* When publishing the results of the surveys, statistics and analyses mentioned in (3), the information will be processed so that individuals cannot be identified.

10. Security Export Control

Nagaoka University of Technology has established "National University Corporation Nagaoka University of Technology Security Export Control Regulation" in accordance with "Foreign Exchange and Foreign Trade Act", and conducts strict examinations for acceptance of international students, etc. Applicants from overseas who fall under any of the conditions set out in said regulations cannot apply for the admission examination.

11. Additional Notes

- (1) Details of enrollment procedures will be informed to successful candidates later on.
- (2) The SDG Professional Course is a special graduate program conducted in English. In order to complete the master's program, students should satisfy all requirements for both SDG Professional Course and the major course.
- (3) Students are advised to learn about the Japanese customs, lifestyle, climate, and university system before coming to Japan.
- (4) For further information, please contact:
 Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,
 Division of Institutional Strategies,
 Nagaoka University of Technology,
 1603-1 Kamitomioka,
 Nagaoka, Niigata 940-2188 Japan
 Fax: +81-258-47-9283 (overseas)
 Fax: 0258-47-9283 (within Japan)
 E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

12. Fields of Study and Research Areas

	Fields of Study	Research Areas
Graduate School of Engineering	Mechanical Engineering	Information and Control Engineering group
		Design and Production Engineering group
		Fluids and Thermal Engineering group
		Materials Science and Engineering group
		Innovative Interdisciplinary Mechanical Engineering group
	Electrical, Electronics and Information Engineering	Electric Energy and Control Engineering group
		Electronic Devices and Light Wave Control Engineering group
		Information, Telecommunication and Control group
	Information and Management Systems Engineering	Applied Informatics group
		Management System group
		Data Science group
	Materials Science and Bioengineering	Resource Utilization Engineering group
		Materials Creation Engineering group
		Biological and Environmental Engineering group
	Civil and Environmental Engineering	Infrastructure Design group
		Infrastructure Management group
		Disaster Prevention Systems group
		Environment Management group
	Nuclear Technology	Nuclear Safety Engineering group
		Nuclear System Engineering group
		Advanced Radiation Engineering group

13. List of Qualified Countries of Nationality for Application

		*	*			*	*
Areas	Countries	M	S	Areas	Countries	M	S
Asia	Bangladesh	○	○	Africa	Congo	○	○
	Bhutan	○	○		Cote d'Ivoire	○	○
	Cambodia	○	○		Democratic Republic of the Congo	○	○
	China	—	○		Djibouti	○	○
	India	○	○		Egypt	○	○
	Indonesia	○	○		Eswatini	○	○
	Lao People's Democratic Republic	○	○		Equatorial Guinea	○	○
	Malaysia	○	○		Eritrea	○	○
	Maldives	○	○		Ethiopia	○	○
	Mongolia	○	○		Gabon	○	○
	Myanmar	○	○		Gambia	○	○
	Nepal	○	○		Ghana	○	○
	Pakistan	○	○		Guinea	○	○
	Philippines	○	○		Guinea-Bissau	○	○
	Sri Lanka	○	○		Kenya	○	○
	Thailand	○	○		Lesotho	○	○
	Timor-Leste	—	○		Liberia	○	○
	Vietnam	○	○		Libya	○	○
Middle East	Afghanistan	○	○		Madagascar	○	○
	Iran	○	○		Malawi	○	○
	Iraq	○	○		Mali	○	○
	Jordan	○	○		Mauritania	○	○
	Lebanon	○	○		Mauritius	○	○
	Syrian Arab Republic	○	○		Morocco	○	○
	Turkey	○	○		Mozambique	○	○
	Yemen	○	○		Namibia	○	○
Africa	Algeria	○	○		Niger	○	○
	Angola	○	○		Nigeria	○	○
	Benin	○	○		Rwanda	○	○
	Botswana	○	○		Sao Tome and Principe	○	○
	Burkina Faso	○	○		Senegal	○	○
	Burundi	○	○		Sierra Leone	○	○
	Cabo Verde	○	○		Somalia	○	○
	Cameroon	○	○		South Africa	○	○
	Central African Republic	○	○		South Sudan	○	○
	Chad	○	○		Sudan	○	○
	Comoros	○	○		Tanzania	○	○

		*	*
Areas	Countries	M	S
Africa	Togo	○	○
	Tunisia	○	○
	Uganda	○	○
	Zambia	○	○
	Zimbabwe	○	○
Central and South America	Guyana	○	○
	Argentina	○	○
	Belize	—	○
	Bolivia	○	○
	Brazil	○	○
	Colombia	○	○
	Costa Rica	—	○
	Cuba	—	○
	Dominica	—	○
	Dominican Republic	—	○
	Ecuador	○	○
	El Salvador	—	○
	Grenada	—	○
	Guatemala	—	○
	Haiti	—	○
	Honduras	—	○
	Jamaica	—	○
	Mexico	—	○
	Nicaragua	—	○
	Panama	—	○
	Paraguay	○	○
	Peru	○	○
	St. Lucia	—	○
	St. Vincent and the Grenadines	—	○
	Suriname	○	○
	Venezuela	○	○

		*	*
Areas	Countries	M	S
Oceania	Fiji	○	○
	Kiribati	○	○
	Marshall Islands	○	○
	Federated States of Micronesia	○	○
	Nauru	○	○
	Niue	○	○
	Palau	○	○
	Papua New Guinea	○	○
	Samoa	○	○
	Solomon Islands	○	○
	Tonga	○	○
	Tuvalu	○	○
	Vanuatu	○	○
Europe (Including New Independent States)	Albania	○	○
	Armenia	○	○
	Azerbaijan	○	○
	Belarus	—	○
	Bosnia and Herzegovina	○	○
	North Macedonia	○	○
	Georgia	○	○
	Kazakhstan	○	○
	Kosovo	○	○
	Kyrgyzstan	○	○
	Moldova	○	○
	Montenegro	○	○
	Serbia	○	○
	Tajikistan	○	○
	Turkmenistan	○	○
	Ukraine	○	○
	Uzbekistan	○	○

Reference: List of ODA Recipients, Development Assistance Committee (DAC), Organization for Economic Co-operation and Development (OECD)

*Reference: Countries/regions eligible for scholarships (Information for the year 2026; the countries for the year 2027 will be announced by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology around November 2025 and may be subject to change from the above information.)

M: Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship

S: SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology

○: Countries/regions eligible for scholarships —: Countries/regions not eligible for scholarships

14. Scholarships for Successful Candidates

Nagaoka University of Technology will provide two scholarships for successful candidates who meet the conditions mentioned in this section.

One is Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship. Our university will nominate up to three successful candidates who meet the qualifications of Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship mentioned below. Those who wish to apply for Japanese Government Scholarship 2026 should indicate it in sections 14(1) on Form A. For further information, please refer to section “15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship”. Nominees for Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship will be notified the nomination process after the announcement of acceptance for this course (The final result of scholarships will be announced by Japanese Government (Monbukagakusho) in July 2027).

The other is SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology. Those who wish to apply for this scholarship should indicate it in section 14(2) on Form A and please refer to section “16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology” for details. Those who apply for Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship can also apply for this scholarship. However, he/she will be exempted from SDG Professional Course Scholarship if he/she is accepted as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship student. SDG Professional Course Scholarship Students will be announced after the announcement of acceptance for this course.

(1) Qualifications for Scholarships

1) Those who wish to apply for scholarships must satisfy both (1) and (2) written in section 4. Qualifications, and in principle, enter Japan with newly obtained Student Visas. In addition, must satisfy following i), ii) and iii) requirements as well:

- i) Have the nationality of a country eligible for scholarships in “13. List of Qualified Countries of Nationality for Application”.
- ii) Be born on or after April 2, 1992
- iii) Have earned a Grade Point Average (GPA) of 2.30 or above in their degeed (for those who are employed) or currently enrolled courses, and be able to maintain that GPA while receiving the scholarship.

○How to calculate GPA

Calculate the GPA according to the table below and apply them to the formula.

Classification	Evaluation Scale				
Four-grade Evaluation		Excellent	Good	Fair	Fall
		A	B	C	F
		100~80pts.	79~70 pts.	69~60 pts.	59 pts.~
Five-grade Evaluation	S	A	B	C	F
	A	B	C	D	F
	100~90 pts.	89~80 pts.	79~70 pts.	69~60 pts.	59 pts.~
Evaluation Point	3	3	2	1	0

○Calculation Formula

$\{(\text{"the number of credits of Evaluation Point 3"} \times 3) + (\text{"the number of credits of Evaluation Point 2"} \times 2) + (\text{"the number of credits of Evaluation Point 1"} \times 1) + (\text{"the number of credits of Evaluation Point 0"} \times 0)\} / (\text{the total number of registered credits})$

(Note 1) If the credit system is not used for classes completed, the number of credits should be replaced by the number of courses.

(Note 2) If the student has transferred to a university, the number of credits after the transfer should be used.

(Note 3) Evaluations that are not included in the above evaluation scale (e.g., "Approved", "Passed", etc.) should not be included.

(Note 4) If there is a fractional number in the academic performance coefficient, round it down to two decimal places.

iv) Meet the following language requirements in English:

○ English

1 Applicants must have a score equivalent to B2 of the Common European Framework of Reference

for Languages (CEFR) in English or higher on a test that can measure the four skills of listening, reading, speaking, and writing at the time of the admission examination. For TOEIC, all four skills (Reading & Listening, Speaking & Writing) must be equivalent to CEFR B2 or higher. For examinations in which scores are calculated for each skill, all skill scores must be equivalent to B2 or higher on the CEFR.

- 2 Completed a curriculum conducted in English as a main language, which meets the entrance qualifications for a master's program of Japanese university.
- 2) Those who meet any one of the following conditions are ineligible. If identified ineligible after being selected as a scholarship student, he/she must withdraw from the scholarship.

1 Those who are military personnel or military civilian employees at the time of their arrival in Japan or during the period of the payment of the scholarship;

2 Those who cannot arrive in Japan by the last date of the period specified by MEXT or Nagaoka University of Technology;

3 Those who are previous grantees of Japanese Government (MEXT) scholarship programs (including those who withdraw from the scholarship program after enrolling). This does not apply to: those who have educational or work experience exceeding more than three years from the following month of the period of the previous scholarship to the estimated first month of the payment of this scholarship; and the past grantees of Japanese Studies Students program who have graduated or are going to graduate from universities in their home countries, Japan-Korea Joint Government Scholarship Program for the Students in Science and Engineering Departments and Young Leaders' Program, those who have obtained or are expected to obtain a bachelor's degree as an undergraduate student receiving a Japanese government (MEXT) scholarship (university recommendation/special category). MEXT Honors Scholarship is not included in the Japanese Government (MEXT) Scholarship Programs, so applicants are eligible to apply even if they have received this scholarship in the past;

4 Those who are currently also applying to another program under the Japanese Government (MEXT) Scholarship system which scholarship payments will begin in FY2026;

5 Those who are planning to receive scholarship or fellowships from Japanese government, a Japanese government-related organization and others after the start of the scholarship payment period;

6 Those who are expected to graduate at the time of application and cannot satisfy the condition of academic background by the deadline given;

7 Holders of dual nationality at the time of application who cannot verify that they will give up Japanese nationality by the time of the arrival in Japan (the acquisition of student status);

8 Those who plan to, from the time of application for the MEXT scholarship program, engage in long-term research (such as fieldwork or internship) outside Japan or plan to take a long-term leave of absence from the university.

9 Those who have no intention to obtain a degree.

15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship

(1) Period of Scholarship

From September 2027 to August 2029 (2 years)

* Those who wish to enter the Doctoral program at NUT and meet certain criteria, especially those with outstanding academic achievements, may apply for an extension of the period of scholarship for further study and be approved by Japanese Government (Monbukagakusho) to receive the scholarship for the period they are in the Doctoral Program (3 years, from September 2029 to August 2032).

(2) Scholarship Benefits

1) Scholarship

144,000 JPY per month (subject to change). Due to the situation of the Japanese Government's budget, the amount of payment may be subject to change. If a grantee is absent from the university for an extended period, the scholarship shall be suspended for that period.

2) Travel Expenses

①Transportation to Japan: MEXT will stipulate the travel schedule and route, and provides an airline ticket. The airline ticket will be an economy-class ticket for the flight from the international airport closest to the grantee's residence (in principle, the country of nationality) to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. The grantee shall bear at his/her own expense all costs related to domestic travel from the grantee's residence to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within Japan (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. The grantee shall also bear at his/her own expense travel and lodging costs incurred in a third country if the grantee must travel to a third country before coming to Japan for visa purposes because there are no Japanese diplomatic missions in his/her country or Japanese diplomatic missions in his/her country are temporarily closed, etc if there are no direct flights from the grantee's country of residence to Japan. MEXT will provide an economy-class airline ticket from the grantee's country of residence to the said third country, and from the third country to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. Except for cases when the grantee must travel to a third country to obtain a visa, MEXT will not provide an airline ticket for cases of travel to Japan from a country other than the grantee's country of residence due to the grantee's personal circumstances.

②Transportation from Japan: Based on the application by the grantee, MEXT will provide an airline ticket to grantees who shall complete a course and return to the home country by the end of the final month of the period of scholarship (See "Period of Scholarship") designated by MEXT. MEXT shall provide an economy-class airline ticket from the international airport in Japan used for the normal route to and from the accepting university to the international airport (in principle, in the country of nationality) nearest to the returning grantee's residence. The grantee shall bear at his/her own expense all costs related to travel from the grantee's residence in Japan to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within the country of nationality (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. If a grantee returns to the home country before the end of period of scholarship due to personal circumstances, or reasons stated in "Suspension of Payment of Scholarship", MEXT will not pay for the returning travel expenses.

If a grantee continues to stay in Japan after the scholarship period has ended (ex. proceeding to further education or being employed in Japan, continuing to register at the university), travel expenses for a temporary return will also not be paid.

(3) Tuition and Other Fees

Grantees are not required to pay for screening, admission and tuition fees. The screening fee will be refunded to those who are accepted as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship student.

(4) Suspension of Payment of Scholarship

Payment of the scholarship will be cancelled for the reasons given below. Should any of the following reasons apply, the grantee may be ordered to return a part of, or all of, the scholarship paid up to that time. Payment of the scholarship may also be stopped during the period up to the decision on the disposition of the matter.

- 1) A grantee is determined to have made a false statement on his/her application;
- 2) A grantee violates any article of his/her pledge to the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology;
- 3) A grantee violates any Japanese laws and is sentenced and imprisoned for an indefinite period or for a period exceeding 1 year;

- 4) A grantee is suspended from his/her university, or receives other punishment, or is removed from enrollment; as a disciplinary action in accordance with school regulations of the accepting institution;
- 5) It has been determined that it will be impossible for a grantee to complete the course within the standard period of study because of poor academic grades or suspension or absence from the university;
- 6) A grantee came to Japan without newly acquiring the “Student” residence status, or changed his/her residence status to one other than “Student”;
- 7) A grantee has received another scholarship (a scholarship or fellowship from Japanese government, a Japanese government-related organization and others) not approved for acceptance in conjunction with the MEXT Scholarship;
- 8) A grantee proceeds to a more advanced level of education without receiving approval for an extension of the period of the scholarship;
- 9) A grantee has withdrawn from his/her university or transfers to another university;
- 10) A grantee’s annual GPA is below 2.30 or the grading standard set by the university.

ATTENTION: Terms and conditions of Japanese Government Scholarship are subject to change.
(Reference: https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/boshu/1415351_00007.htm)

16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology

(1) Period of Scholarship

From September 2027 to August 2029 (2 years)

* Those who wish to enter the Doctoral program at NUT and meet certain criteria, especially those with outstanding academic achievements, may apply for an extension of the period of scholarship for further study and be approved by NUT to receive the scholarship for the period they are in the Doctoral Program (3 years, from September 2029 to August 2032).

(2) Scholarship Benefits

1) Scholarship

80,000 JPY per month (subject to change). Please note that the scholarship will be suspended in the event that a grantee takes a leave of absence from the university or fails to attend for a considerable period.

2) Traveling Expenses

Not provided.

3) Tuition and Other Fees

Grantees are required to pay for screening, admission and tuition fees as indicated in section 8.

4) Suspension of Payment of Scholarship

Scholarship may be cancelled, and the grantee may require to return the amount of scholarship that he/she received during the period where he/she was involved in the following situation(s):

- 1) A grantee fails to meet the obligations as recipients;
- 2) A grantee has made a false statement on his/her application;
- 3) A grantee has received Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship, scholarship provided by foreign government or any other scholarships.

SDGプロフェッショナルコース入学申請書

2026 APPLICATION FOR ADMISSION TO THE MASTER'S PROGRAM AT GRADUATE SCHOOL OF
ENGINEERING, NAGAOKA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY (SDG PROFESSIONAL COURSE)

記入上の注意

1. タイプまたは手書きでブロック体で明瞭に記入すること。
2. 数字は算用数字を用いること。
3. 年号はすべて西暦とすること。
4. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
5. 両面印刷すること。

※本申請書に記載された個人情報については、本プログラムの選考のために使用するほかは、特にEmailアドレス等の連絡先については、入学後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ長岡技術科学大学より各種情報を送信する以外には使用しない。

INSTRUCTIONS

1. Type application, if possible, or write neatly by hand in block letters.
2. Use Arabic numerals.
3. Write years in western calendar.
4. Write proper nouns in full without abbreviation.
5. This form must be printed double-sided.

※Personal data entered in this application will only be used for selection purposes, and contact information such as email addresses will only be used to create academic networks after the applicant is enrolled and by Nagaoka University of Technology to send out information when needed.

1.氏名 Name	アルファベット Alphabet	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)
	自国語 Native language	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)

※綴りはパスポートの表記と同一にすること Write your name exactly as it appears in your passport.

2.性別 Gender	☐ 男 Male ☐ 女 Female	3. 婚姻状況 Marital Status	☐ 独身 Single ☐ 既婚 Married	写真(4.5cm×3.5cm) Photo Paste your photo or digital image taken within 6 months. Write your name and nationality on the back of the photo. 6ヶ月以内に撮影した写真 またはデジタル画像を貼る こと。写真の裏面に名前と 国籍を書くこと。	
4.国籍 Nationality					
5.日本国籍 Japanese Nationality	☐ 無 NO ☐ 有: 離脱予定年月 YES: expatriation date	2 0 年 yy	月 mm		
6.生年月日 Date of Birth	年 yyyy	月 mm	日 dd		年齢 (2027/9/1現在) Age (As of September 1, 2027)
7.(1)現住所 Current Address				国名 Country	
(2)電話番号 Phone number			(3) Email		

※可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想されるEmailアドレスを記入すること。
You are suggested to write an email address that can be used continuously before, during and after your stay in Japan.

8.志望分野 Preferred Field of Study (Check one)
☐ 機械工学分野 Mechanical Engineering ☐ 電気電子情報工学分野 Electrical, Electronics and Information Engineering ☐ 情報・経営システム工学分野 Information and Management Systems Engineering ☐ 物質生物工学分野 Materials Science and Bioengineering ☐ 環境社会基盤工学分野 Civil and Environmental Engineering ☐ 量子・原子力統合工学分野 Nuclear Technology
9.(1)志望する講座名 (別冊の「Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering」を参照してください。) Preferred Research Areas (Please refer to Appendix "Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering" (XXX group).)
(2)志望する指導教員名 Preferred Academic Advisor
10.学会の会員であればその名称 Information of membership in honor societies and professional organizations, if any. (Attach additional sheets, if necessary.)
11.奨学金や受賞歴 Information of scholarship, prizes, honors, awards and other recognitions, if any. (Attach additional sheets, if necessary.)
12.このプログラム終了後の計画 Future plan after completion of the program.
13.他に応募している大学院 List of other graduate schools you are applying currently, if any.

渡日前奨学金制度
令和9(2027)年度大学院工学研究科修士課程SDGプロフェッショナルコース学生募集要項「14 渡日前奨学金制度」に記載のとおり、本学には、本コースの合格者の内から該当する者を対象とした渡日前奨学金制度があります。
Scholarships for Successful Candidates
As indicated in “14. Scholarships for Successful Candidates” of APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION to the Master’s Program at Graduate School of Engineering (SDG Professional Course) , our university has scholarships for those who meet the conditions mentioned in the section.

14.(1)本コースが採択された場合、あなたは日本政府(文部科学省)奨学金留学生への推薦を希望するか。
If this course is selected by Japanese Government (Monbukagakusho), do you hope to be nominated as a Japanese Government Scholarship Student?

☐ はい
YES
☐ いいえ
NO

14.(2)あなたは、長岡技術科学大学SDGプロフェッショナルコース奨学金留学生を希望するか。
Do you hope to be admitted as a SDG Professional Course Scholarship Student at Nagaoka University of Technology?

☐ はい
YES
☐ いいえ
NO

14.(3)過去に国費外国人留学生に採用されたことがあるか。
Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past?

☐ はい
YES
☐ いいえ
NO

14.(4)「はい」の場合は以下にその期間、受入学校名を記入し、プログラムを以下の「プログラム区分」から選択すること。
If "YES", please specify the period and the name of the school, and select the Program No. (① to ⑨) from the below 'Program category'.

期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.
期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.
期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.

プログラム区分 Program category	①研究留学生 Research Students	②学部留学生 Undergraduate Students	③高等専門学校留学生 College of Technology Students
	④専修学校留学生 Specialized Training College Students	⑤日本語・日本文化研修留学生 Japanese Studies Students	⑥教員研修留学生 Teacher Training Students
	⑦日韓共同理工系学部留学生 Japan-Korea Joint Government Scholarship Program for the Students in Science and Engineering Departments	⑧ヤング・リーダーズ・プログラム留学生 Young Leaders' Program	⑨スーパーグローバル大学創成支援事業 Top Global University Project

※過去に受給した奨学金が文部科学省奨学金に該当するか否か不明の場合は事前に希望大学担当者に相談すること。If you are unsure whether previously awarded financial aid corresponds to a MEXT Scholarship or not, please consult in advance with staffs at the university in Japan you wish to attend.

14.(5)他の奨学金に応募又は他の奨学金を受給している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。
If you are receiving or applying for other scholarships, please specify the name of the sponsor, scholarship period, scholarship amount, etc.

15.学歴 Academic record											
INSTRUCTIONS 1. 幼稚園・保育所教育は含まれない。 2. 「大学予備教育」は後期中等教育に含まれる。 3. 「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨「特記事項」欄に記入すること。 4. 「飛び級」をしている場合には、その旨を「特記事項」欄に記入すること。(例)高校3年次を飛び級により短期卒業) 5. 住居の移転や大学の再入学等を理由に、同教育課程で複数の学校に在籍していた場合は、同じ欄に複数の学校の在籍を記載し、すべての修学状況を修学年数に含めること。 6. 修了済みの課程年数合計は在籍期間を算出し、記入すること。(長期休暇も含める) 7. 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。 1. Exclude kindergarten education and nursery school education. 2. Preparatory education for university admission is included in upper secondary education. 3. If the applicant has passed the university entrance qualification, indicate this in the Remarks column. 4. Any school years or levels skipped should be indicated in the Remarks column. Example: Skipped senior year for the early graduation. 5. If you attended multiple schools at the same level of education due to moving house or readmission to university, then write the schools in the same column and include the number of years of study and current status for each school. 6. Calculate and write the total number of years studied based on the duration as a student. (including extended leaves such as summer vacation) 7. You may use a separate piece of paper if the space below is insufficient. In such a case, please stipulate that the information is on a separate page.											
初等教育 (小学校) Primary Education (Elementary School)	学校名 Name										
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	特記事項 Remarks										
前期中等教育 (中学校) Lower Secondary Education (Middle School/Junior High School)	学校名 Name										
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	特記事項 Remarks										
後期中等教育 (高校) Upper Secondary Education (Senior High School)	学校名 Name										
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	特記事項 Remarks										
高等教育 (大学学部) Tertiary(Higher) Education (Undergraduate)	学校名 Name						学部名 Name of Faculty				
	所在地 Location	州・省 State/Province					市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	修了状況(※渡日時点) Status (*As of arrival in Japan)	☐ 修了 Completed		☐ 修了見込 Expected to complete		☐ 退学 Withdrawal		☐ その他 ※特記事項欄に記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.			
	学位 Degree	☐ 学士 Bachelor-level									
	特記事項 Remarks										
	特記事項 Remarks										
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name						学部名 Name of Department				
	所在地 Location	州・省 State/Province					市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	修了状況(※渡日時点) Status (*As of arrival in Japan)	☒ 修了 Completed		☐ 修了見込 Expected to complete		☐ 退学 Withdrawal		☐ その他 ※特記事項欄に記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.			
	学位 Degree	☐ 学士 Bachelor-level					☐ 修士 Master-level		☐ 博士 Doctor-level		
	特記事項 Remarks										
	特記事項 Remarks										
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name						学部名 Name of Department				
	所在地 Location	州・省 State/Province					市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 yrs		
	修了状況(※渡日時点) Status (*As of arrival in Japan)	☐ 修了 Completed		☐ 修了見込 Expected to complete		☐ 退学 Withdrawal		☐ その他 ※特記事項欄に記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.			
	学位 Degree	☐ 学士 Bachelor-level					☐ 修士 Master-level		☐ 博士 Doctor-level		
	特記事項 Remarks										
	特記事項 Remarks										
入学時点(2027年9月1日)で修了済みの課程年数合計										年 yrs	
Total years of education you will complete as of enrolment in the university in Japan (September 1, 2027)											年 yrs

16.過去に専攻した専門分野(できるだけ具体的に詳細に書くこと。) Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.)			
17.過去に論文を執筆したことがあるか Have you ever written a thesis?		☐ ある YES ☐ ない NO	
18.著書、論文(卒業論文を含む。)があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記入すること。 State the titles or subjects of books and papers (including graduation thesis) authored by applicant, if any, with the name, address of publisher and the date of publication.			
19.日本における最終的な希望留学期間 Term you wish to study in Japan		☐ 修士課程修了まで Up to the completion of master's degree program ☐ 博士課程修了まで Up to the completion of doctoral program	
20.現職の有無 Do you currently have a job?	☐ いいえ NO	☐ はい → YES	勤務先名 Employer's name
21.職歴(直近2つまで記入すること。アルバイトは除く。) Employment record: Write the 2 most recent employment and exclude part-time work.			
勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment	役職名 Position	職務内容 Type of work
	From To		
	From To		

22.英語能力(資格) English language qualifications	TOEFL	iBT		IELTS		その他の資格名 Name of other qualification		得点等 Score, etc.	
		Other type ()							
※2024年11月以降に取得した資格・検定試験のスコアのみ受け付けます。 Only qualifications obtained after November 2023 will be accepted.									
23. 同伴家族欄(渡日する同伴予定の家族がいる場合に記入すること。) Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any family members to Japan.)									
※なお、同伴者に必要な経費はすべて採用者の負担であるが、家族用の宿舎を見つけることは相当困難であり賃貸料も非常に割高になるのであらかじめ承知しておくこと。このため、採用者はまず単身で来日し、適当な宿舎を見つけた後、家族を呼び寄せること。 All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration the various difficulties and great expense that will be involved in finding living quarters for them. Therefore, those who want to accompany their families are well advised to come alone first and let them come after suitable accommodation has been found.									
氏名 Name			続柄 Relationship		年齢 Age	国籍 Nationality			
24. 緊急の際の母国の連絡先 Person to be notified in applicant's home country in case of emergency.									
氏名 Name							続柄 Relationship		
現住所 Current address							職業 Occupation		
電話番号/FAX番号 Phone / Facsimile number					Email				
25. 日本への渡航及び滞在歴 Past visits or stays in Japan List from your most recent visits.									
期間 Period								渡航目的 Purpose	
From		年 yyyy		月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm
From		年 yyyy		月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm
私は令和9(2027)年度SDGプロフェッショナルコース学生募集要項に記載されている事項をすべて了解して申請します。また、申請書の記述で、求められた情報に答えなかったり虚偽を述べたりした場合、入学資格を失うことや退学の対象となることを承知したうえで、これまでの記述は正しいものであることを誓約します。 I understand and accept all the matters stated in the Application for SDG Professional Course for 2027 and hereby apply for this program. I also understand that withholding pertinent information requested in this application form or giving false information will make me ineligible for admission or will make me liable to dismissal. Bearing this in mind, I certify that the above statements are correct and complete.									
申請者署名 Applicant's signature					申請年月日 Date of application		20 年 / 月 / 日 year / month / day		

専攻分野及び研究計画

Field of Study and Research Plan

Name in full,
in your native language

(姓名(自国語)) _____ , _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Name in Roman capital letters

(姓名(ローマ字)) _____ , _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Nationality

(国 籍) _____

Proposed study program in Japan (Outline your field of study on this side and the specific of your study program on the reverse side of this sheet. This section is one of the most important references for selection. The statement must be typewritten or written in block letters. Additional sheets of paper may be attached if necessary. If plagiarism or fraud is discovered after selection, the selection will be cancelled retroactively.)

(日本での研究計画;この研究計画は、選考の重要な参考となるので、表面に専攻分野の概要を、裏面に研究計画の詳細を具体的に記入すること。記入はタイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は別紙を追加してもよい。なお、採用後に不正、盗用等が判明した場合は遡って採用を取り消す。)

If you have Japanese language ability, write in Japanese. (相当の日本語能力を有する者は、日本語により記入すること。)

1 Present field of study(現在の専攻分野)

2 Your research topic in Japan: Describe articulately the research you wish to carry out in Japan.

(渡日後の研究テーマ:日本においてどういった研究がしたいかを明確に記入すること)

3 Study program in Japan: (Describe in detail and with specifics – particularly concerning the ultimate goal(s) of your research in Japan)

(研究計画: 詳細かつ具体的に記入し、特に研究の最終目標について具体的に記入すること。)

To those who will write a recommendation letter for an applicant

This is an evaluation form from Nagaoka University of Technology.
Please fill out the blanks on this paper.
This form may be used as a recommendation letter.

Nagaoka University of Technology

RECOMMENDATION LETTER

TO THE PRESIDENT OF NAGAOKA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

Applicant's name: _____
(type or print) family first middle

1. How long and under what circumstances I have known the applicant.

2. I rate the applicant in terms of the items listed below.

	poor lower 50%	fair top 50%	Good top 25%	very good top 15%	excellent top 5%	not known
academic performance						
intellectual potential						
analytical ability						
creativity						
motivation						
independence						
maturity						
cooperation with others						
English skill (written)						
English skill (oral)						

3. My opinion on the possibility of the applicant's success in the course.

4. My overall evaluation of the applicant.

☐strongly recommended ☐recommended ☐recommended with reservation ☐not recommended

RECOMMENDER'S NAME

IN ROMAN BLOCK CAPITAL

NAME OF INSTITUTION:

TITLE / POSITION:

E-MAIL / PHONE:

SIGNATURE / DATE:

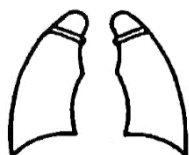
FORM D

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 ☐ 男 Male 生年月日 年齢
 Name: _____ ☐ 女 Female Date of Birth: Age
 Surname First name Middle name

14. 身体検査 (Physical Examination)							
(1) 身長 Height _____ cm		体重 Weight _____ kg					
(2) 血圧 Blood pressure	mm/Hg ~ mm/Hg	血液型 Blood Type	A B O	RH + -	脈拍 Pulse	☐ 整 regular	☐ 不整 irregular
(3) 視力 Eyesight	(R) _____ (L) _____ 裸眼 without glasses	色覚異常の有無 color blindness		☐ 正常 normal ☐ 異常 impaired			
(4) 聴力 Hearing	☐ 正常 normal ☐ 低下 impaired	言 語 speech		☐ 正常 normal ☐ 異常 impaired			

Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest x-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 ☐ 正常 normal
lung: ☐ 異常 impaired

心臟 ☐ 正常 normal
Cardiomegaly: ☐ 異常 impaired

異常がある場合 心電図 ☐ 正常 normal
Electrocardiograph: ☐ 異常 impaired

Describe the condition of applicant's lung

3. 現在治療中の病気 ☐ Yes (Disease: _____)
Disease Treated at Present ☐ No

4. 既往症

Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis	☐ (. .)	Malaria	☐ (. .)	Other communicable disease	☐ (. .)
Epilepsy	☐ (. .)	Kidney Disease	☐ (. .)	Heart Disease	☐ (. .)
Diabetes	☐ (. .)	Drug Allergy	☐ (. .)	Psychosis	☐ (. .)
Functional Disorder in extremities	☐ (. .)				

5. 検査 Laboratory tests

検尿 Urinalysis : glucose (), protein (), occult blood () 赤沈 ESR: _____ mm/Hr ,
 WBC count: _____ /cmm 貧血(anemia) ☐ Hemoglobin : _____ mg/dl , GPT : _____

6. 診察医の印象を述べてください。
Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan ?

yes ☐ no ☐

日付 (Date): _____ 署名 (Signature): _____

医師氏名 (Physician's Name in Print): _____

検査施設名 (Office/Institution)

所在地 (Address):

Date:
Day/Month/Year

Application Form for SDG Professional Course Scholarship
at Nagaoka University of Technology

To the President of Nagaoka University of Technology:

I hereby apply for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology. Furthermore, I declare that I am not receiving or scheduled to receive the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship or any scholarship from any organization including an organization of my home country government.

Applicant Information (Write your name exactly as it appears on your passport)

Name	
Program	☐ Master's Program ☐ Doctoral Program
Major	
Signature	

Reason for the Application (It is required to be written by the Applicant.)

Check Sheet for Application Documents

2027 SDG Professional Course

Master's Program at Graduate School of Engineering, Nagaoka University of Technology

Prior to the submission of application form and required documents, be sure to check if the following documents are enclosed. **Please enclose this check sheet with the application documents.**

NOTE: All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.

NOTE 2: Method of payment including URL of e-apply will be informed to each applicant upon confirmation of application documents received by the deadline indicated in Section 5 (3). The applicant is asked to make a payment of screening fee by a credit card through “e-apply” which is a website for screening fee payments. The applicant is also required to submit the payment receipt downloaded from e-apply website. If the applicant fails to make a payment by the designated deadline, the application will not be accepted or proceed. For further information, please refer to section 5 (4).

- ☐ **Form A** (Application Form for Admission) [Double-sided Printing]
- ☐ **Form B** (Field of Study and Research Plan) [Double-sided Printing]
- ☐ **Form C** (Recommendation Letter) [Must be obtained from the head of the department or above.]
- ☐ **Form D** (Certificate of Health)
- ☐ **Copy of Passport OR Copy of Certificate of Citizenship of the Applicant's Country of Residence**
- ☐ **Certificate of Graduation, or document that confirms the expected date of graduation**
- ☐ **Certificate of Bachelor's Degree, or document that confirms the expected date of receiving the degree**
- ☐ **Academic Record (transcript) of Undergraduate Program**
- ☐ **Brief summary of Bachelor's thesis (optional)**
- ☐ **Report on research and professional achievement (optional)**
- ☐ **English proficiency requirement**
- ☐ **Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology (if applicable)**

Note (if any):



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学大学戦略課
国際・高専連携戦略室
FAX 0258-47-9283

Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,
Division of Institutional Strategies,
Nagaoka University of Technology,
1603-1 Kamitomioka, Nagaoka,
Niigata 940-2188 JAPAN
FAX +81-258-47-9283

E-mail koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

URL https://www.nagaokaut.ac.jp/e/nyuushi/examination/sdgp_course.html